

令和3年度 社会福祉法人 誠真会 事業計画

令和3年度は介護報酬改定がなされ、新型コロナウイルス感染症や大規模災害が発生する中で、指針として「感染症・災害への対応力強化」が示されました。

将来を見据え、地域包括ケアシステムの推進、自立支援・重度化防止の取組、介護人材の確保、介護現場の革新、制度の安定性・持続可能性の確保が重点項目となります。

当法人は、この指針に基づき、医療と介護のより一層の連携、質の高い介護サービスの提供、職場環境の改善、災害発生時の事業継続に向けた体制の構築に取り組んでいきます。

コロナ禍において、感染拡大を最大限防止する観点から、引き続き感染予防対策の徹底に職員一丸となって取り組んでおります。今年度の事業については、コロナ禍の社会的状況により、外部と交流する事業は見合わせているところですが、医療機関や他の機関と連携し、利用者、入居者、ご家族、関係者の方に安心していただけるようにこれからも良い施設づくりに邁進いたします。また、長期的に対応していくため、これまでの介護サービスや児童保育、業務の在り方についても見直しを図ってまいります。

持続可能な法人経営を目指し、社会福祉事業の安定的な運営と地域福祉を推進すべく、現状の課題とコロナ後の社会情勢の変化を捉えながら事業計画を実行してまいります。

地域の課題は一層多様化、複雑化してきていますが、地域のニーズを踏まえ、地域における公益的な取り組みを積極的に推進してまいります。

以上